

一 般 質 問

イノシシの被害とその対策は！

神 岡 光 人 議 員

問 イノシシによる被害状況と鳥獣対策被害防止施設整備事業補助制度について問う。



JA以外で購入した防護柵などは、補助対象とならないと聞いたが、事実か。事実であれば不公平感がある。手立てはないのか。

答 被害については、4月から現在まで、150件。被害額は、農業共済の被害を参考に、350万円相当と見込まれる。

対策は、柑橘・野菜・水稻を対象に柵やトタンによる防御を基本としたものと、大島郡猟友会に委託し、くくりわな等での捕獲を実施している。

捕獲数は11月末日で296頭を捕獲し、昨

年同時期140頭を大幅に超えている。

整備事業補助制度の事業内容は、農作物の被害防止等整備として、電気柵・トタンの資材のみが補助対象。採択基準は柑橘・水稻等で、1カ所おおむね2アール以上。補助金の上限は5万円。今後は、防護策としてワイヤーメッシュ等も追加し、大々的に取り組んでいく。JA以外での購入分について今年度は、補助金要綱に基づくため、交付できない。所得の向上、地域の活性化を図り、定住人口の減少の抑制につなげていきたい。

イノシシの捕獲頭数 (頭)

	旧大島	旧久賀	旧橘	旧東和	合計
18年度	10	0	22	77	109
19年度	30	0	25	101	156
20年度	81	2	22	135	240
21年度	110	19	33	113	275
22/11月現	90	48	64	94	296
累 計	321	69	166	520	1,076

久賀中学校校舎、建物の耐震化に向けて！

平 川 敏 郎 議 員

問 本町の小中学校の耐震補強

及び改築は、順次進んでいるが、本校も老朽化が進み生徒にとって安全で快適な生活環境の確保が必要不可欠で、早急な課題と考える。



第一次診断ではIS値が、普通教室0.23、特別教室0.13、技術室0.19、と記憶している。第二次耐震診断を踏まえ事業の予算化、並びに耐震補強を行うのか、改築をするのかを問う。

答 第二次診断が平成21年度完了し、学校施設の耐震性を示す構造耐震指標が出された。数値の低い施設から耐震化を進めていくこ

とが児童生徒の安全安心に繋がるという判断のもと、計画的に進め



久賀中学校

ている。久賀中については、第二次診断で普通教室0.23特別教室0.33技術室0.72の結果が出た。財源の確保が出来れば、来年度改築の計画設計を行い、24年度以降に建替え工事を進めていきたい。

問 柳井市では、プレハブによる建物リース併用。リース後買い取りという事業で耐震建物に改築した例があるが、その点を問う。

答 視察に行ったが、小規模な事例であり、割高となるため、久賀中の改築は、教室棟、特別教室棟を含めた校舎で考えていきたい。